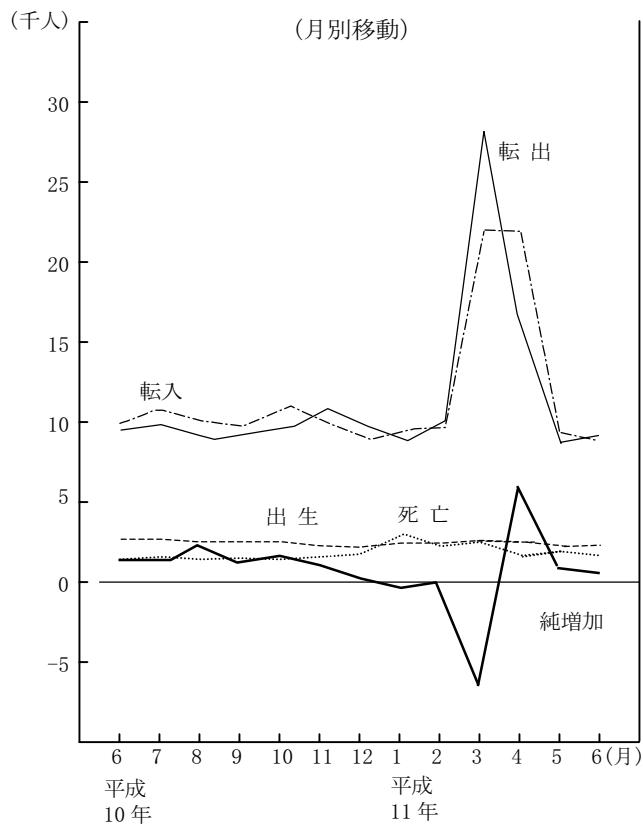


人 口



■人口 (11年7月1日)

6月の概況

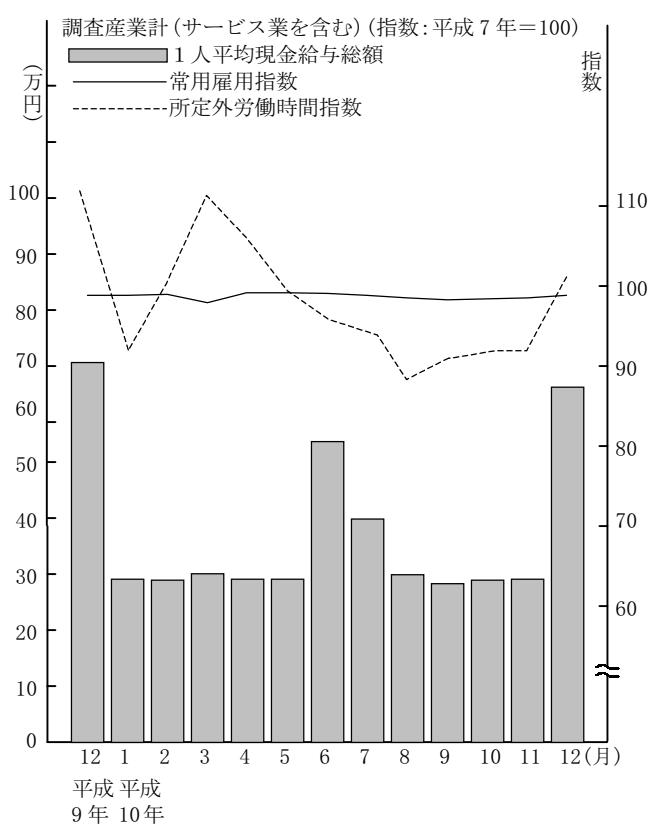
本県の人口は、6月中に586人増加し、7月1日現在で、**2,995,848人**（男1,495,477人、女1,500,371人）となった。

内訳は、自然動態で、732人（出生2,372人、死亡1,640人）増加し、社会動態で、146人（転入9,058人、転出9,204人）減少した。前年同月と比べると6,995人（0.2%）の増加である。

市町村別では、増加が10市32町村、減少が10市32町村、増減なしが1町である。

世帯数についても6月中に、973世帯増加し、**983,338世帯**となった。

賃金・労働時間・雇用



■賃金・労働時間・雇用 (10年12月)

1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で**657,464円**、対前年同月比8.2%減、このうち、きまつて支給する給与は274,622円、対前年同月比1.2%減であった。特別に支払われた給与は、382,842円であった。

2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で**155.8時間**、対前年同月比2.0%減であった。このうち所定内労働時間は144.8時間、対前年同月比1.3%減、所定外労働時間は11.0時間、対前年同月比10.5%減であった。

3. 雇用の動き

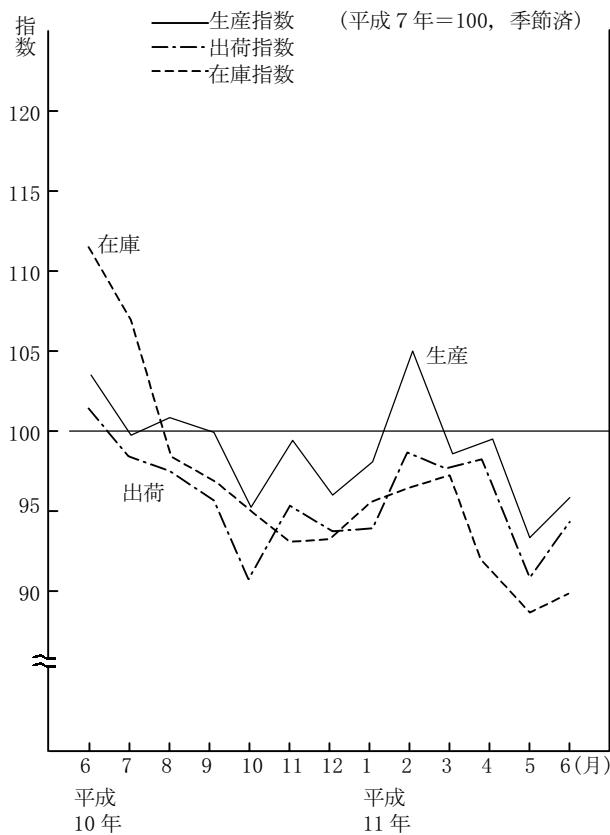
12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.1%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

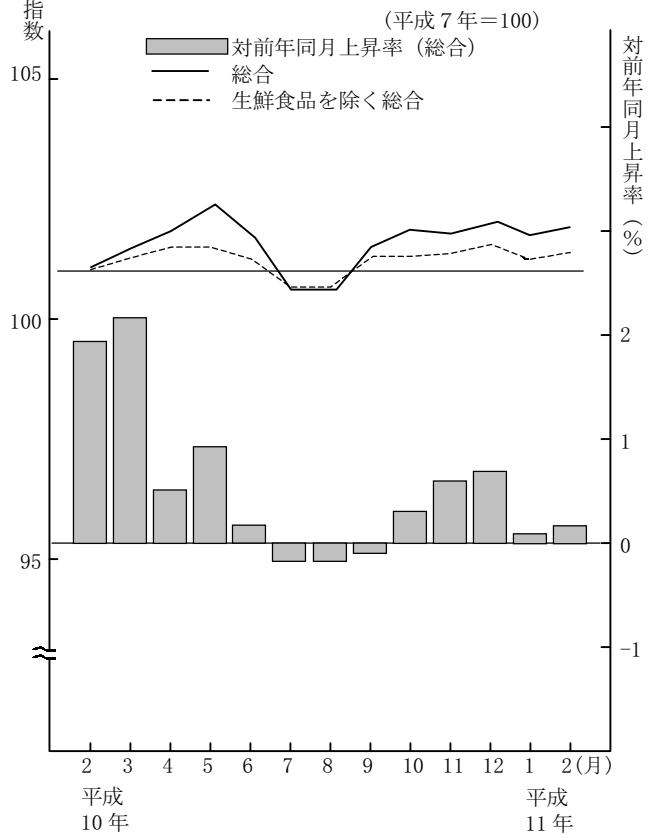
なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

■ 今月の主な動き ■ 今月の主な動き ■

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



消費者物価指数



■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (11年6月)

本県における平成11年6月の“鉱工業指数”（平成7年=100）は、季節調整済指数で、生産が95.8、出荷が94.3、在庫が89.8であった。

- (1) 生産の前月比は、2.6%の上昇、前年同月比は△7.0%の低下であった。業種別に前月比をみると、鉱業、石油・石炭製品工業、精密機械工業等が上昇し、一般機械工業が低下した。財別にみると、非耐久消費財、資本財等が上昇し、耐久消費財が低下した。
- (2) 出荷の前月比は3.7%の上昇、前年同月比は△7.3%の低下であった。業種別に前月比をみると、鉱業、精密機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、一般機械工業が低下した。財別にみると、鉱工業用生産財、建設財等が上昇し、資本財が低下した。
- (3) 在庫の前月比は0.2%の上昇、前年同月比は△19.4%の低下であった。業種別に前月比をみると、鉱業、石油・石炭製品工業、一般機械工業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、鉄鋼業等が低下した。財別にみると、資本財、非耐久消費財等が上昇し、建設財、耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (11年2月)

平成11年2月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で101.8（平成7年=100）となり、対前月比0.1%の下落、対前年同月比0.2%の上昇となった。

今月の上がった主な項目…果物8.5%，

今月の下がった主な項目…野菜・海草3.7%，衣料4.7%，シャツ・セーター・下着4.0%

生鮮食品を除く総合は101.3となり、対前月比0.1%の下落、対前年同月比0.2%の下落であった。

■ 費目別指標

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.8	△0.1	0.2	保健医療	112.0	0.0	△0.8
食料	103.9	△0.1	1.7	交通通信	97.7	0.0	△1.2
住居	101.9	0.2	△0.4	教育	107.4	0.0	1.0
光熱・水道	101.7	0.0	△1.0	教養娯楽	99.4	0.3	△0.8
家具・家用品	95.6	△0.4	△1.1	諸雑費	102.8	0.1	1.2
被服及び履物	98.9	△3.1	0.3	生鮮食品を除く総合	101.3	△0.1	△0.2